

本時のねらい

健康で快適な室内環境について考え、整え方を工夫できる

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレットを活用することにより、快適で住みやすい間取りを作成することができる。
- ・1回1回の授業ごとに、改良を加えていき、現段階と最終段階を比較して考えることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ 1人1台端末
- ・ WebCad
- ・ Google Classroom

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までに調べた日本の住まいや、世界の住まいを参考に自分が思う、快適で住みやすい住まいを考える ・Webcad の使い方の説明 <p style="text-align: right;">【写真1】</p>	<p>Webcad とは、無償で使えるアプリケーションであり、自分で考えた家の間取りを、外観や内観など3Dの視点で見ることができるとため生徒たちが間取りをよりイメージしやすくなる。</p>
展開 (35分)	<p>Webcad を開き作業開始（前回作成したファイルを開く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにしたら住みやすいか ・実際に暮らすのに最適な大きさはどのぐらいかを念頭に置いて、作業を進める ・一人で作業するのではなく、各自が作成した間取りについて、画面を見合いながらコメントをする。 <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<p>Webcad を使用し、間取りを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消したり変更したりが素早くでき、編集しやすい。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のふり返しを行う。（作業内容の復習） できた人から Google Classroom を開き提出（次回以降も使うので保存する） <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<p>作成できたものを画像保存し、Classroom に提出。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Classroom に画像データで提出することで、提出をすぐに確認でき、テレビなどでほかの生徒への共有が容易にできる。

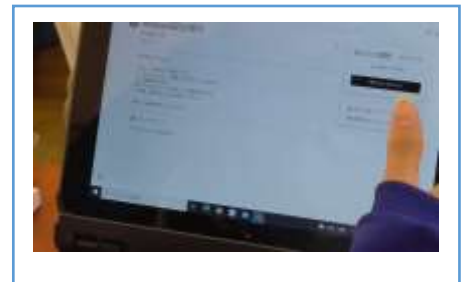
1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】教員から、本時のめあてを説明する様子



【写真2】WebCad を使用し、快適な住まいを考える様子



【写真3】Google Classroom を使用し、課題を提出する様子

児童生徒の反応や変容

- ・前年度の時の手書きと比べ、大きな個人差がなく、全員が間取りを考えることができた。
- ・自分の進捗状況をすぐに周りの生徒に見せることができ、意見交流が活発に行われた。
- ・ゲームと同じような感覚でできる生徒もおり、自らすすんで作成しようとする意欲が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・無償のアプリケーション（Webcad）を使うことで、費用をかけなくても作成することができる。
- ・画像の保存やデータの保存、それらの提出を行うことで1人1台端末の使い方の幅が広がる。